

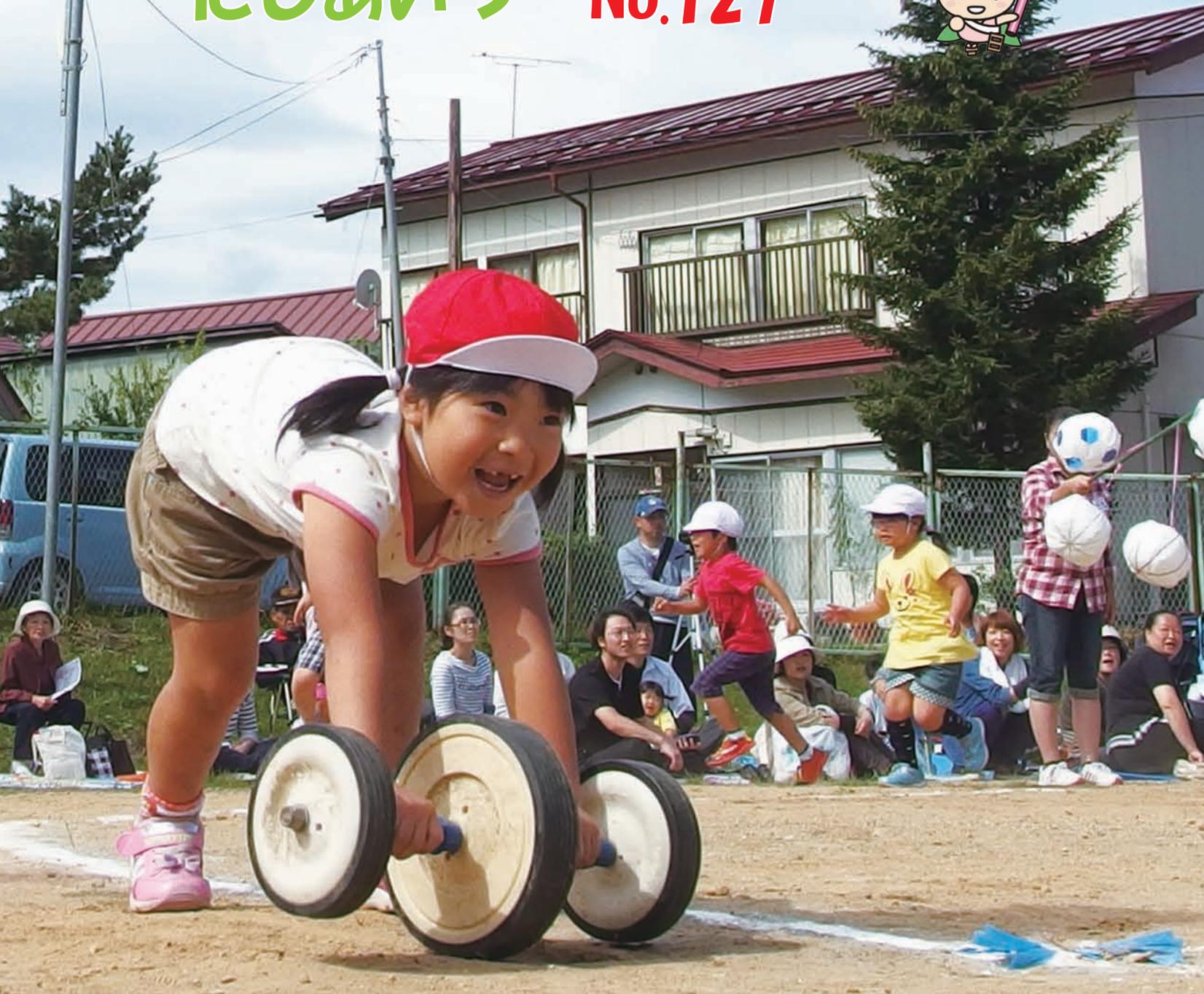
議会だより

にしあいづ No.127

2014.10.27

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



- 9月議会定例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～6
 - 平成25年度一般会計・特別会計決算の認定
 - 介護保険特別会計決算の認定はNO！・・・・・・・・ 2～4
 - 町民の標として 町民憲章を制定・・・・・・・・ 5
 - 常任委員会事務調査報告・・・・・・・・・・・・ 6
- ここが聞きたい！一般質問 12人が登壇・・・・・・・・ 7～13
- 町民のみなさん お話ししましょう・・・・・・・・ 14～15
- 群岡保育所保護者会長 佐藤秀一さんにインタビュー・・・・ 16

一等賞はもう目の前！！（野沢保育所運動会）

介護保険特別会計 決算の認定は

NO!

計画通りにいっていない
決算は認定できない!

介護保険特別会計決算

9月議会定例会に町から、平成25年度各会計の決算の認定や町民憲章の制定など25件の議案が提出されました。平成25年度介護保険特別会計決算の認定を不認定としたほかは、全議案とも全員賛成により原案のとおり可決しました。
一般質問では、議員12人が登壇し、町の考えや対応を問いました。

平成25年度決算
こうじはどうなってる?

一般会計

かつたのではないか。

②原発事故による風評被害払拭のためのトップ

セールの成果や実績は。

総務課長

①道路整備は計画的に予算計上し実施してきたが、さらに調査をして計画的に実施する。

商工観光課長

②今までイベント会場などに出向き、20カ所くらいでPR活動を行い、約50万円の売り上げがあった。アンテナショップの売り上げも約90万円となっている。

農林振興課長

②行政・生産者・JAの三者が一体となった売り込みは珍しく、誠意が消費者に伝わっている。

猪俣常三議員

地方交付税の中に、震災や原発事故関連のものが含まれているか。

平成25年度介護保険特別会計決算の認定は、採決の結果、認定することに賛成4・反対8で認定しませんでした。

【質疑】

長谷沼清吉議員

第5期介護保険事業計画では、民間活力を導入したグループホームと小規模多機能型居宅介護事業所の利用率を平成25年度では70パーセント、平成26年度では90パーセントに見込んでいたが、計画の遅れにより利用率が低い。

建設の遅れは想定外と考えるが、準備の遅れはなかったのか。

健康福祉課長

東日本大震災等の理由もあり、国の指針の遅れ

討論

反対

長谷沼清吉議員

当初から、この民間導入の計画には無理があった。また、電気自動車用急速充電器の設置、西会津中学校クーラー設備など、すぐ計画の変更をする。

行政には結果が求められ、できなかったからやむを得ないとは言えない。今後は、きちっとした計画を立てることを求める意味からも、この認定はすべきではない。

採決結果

長谷沼	武藤	五十嵐	清野	荒海	青木	多賀	鈴木	猪俣	伊藤	渡部	長谷川	三留	小柴
×	-	×	×	×	×	退	×	○	○	○	×	○	×

○は認定賛成、×は認定反対、退は退席。武藤議員は議長のため採決に加わっていません。

青木照夫議員
町民バスの運行経費が増となっているが、今後の見通しは。

町民税務課長

現在の運行状態であれば、経費の変化はさほどない。

五十嵐忠比古議員
公共施設に太陽光発電設備が何力所か設置されたが、設置の効果は。

企画情報課長

設置目的が防災拠点としてであり、売電はできないが、災害時の停電への対応が期待される。

長谷沼清吉議員

①黒字で決算となったが、財政調整基金の取り崩しも少なかった。もつと道路整備に使っても良

平成25年度 一般会計・特別会計決算の認定



小学校施設が役場庁舎にどう生まれ変わるのか

総務課長

地方交付税の中には、普通交付税、特別交付税、震災復興特別交付税があり、特別交付税の中に震災分120万4千円が含まれている。

長谷川義雄議員
空き家情報バンク事業の効果は。

商工観光課長
ホームページを作成し紹介をしているが、登録は1件である。

清野佐一議員

ツリーハウスの修繕は、毎年行っているのか。

商工観光課長
今後の安全性の確保のため、専門の方に修繕をしていただいた。

荒海清隆議員

庁舎整備積立基金に5千万円積立てたが、庁舎整備について町の考えは。

総務課長
西会津小学校が新校舎に移転した後、役場庁舎と

特別会計

して使用するための改修経費の一部として積立てた。

■下水道施設事業

長谷沼清吉議員
使用料が前年より減と
なっている要因は。

建設水道課長
使用料の減は、加入件数は増えているが、人数は減っているためである。

■農業集落排水処理事業

清野佐一議員
処理区ごとの接続率は、接続率の向上策は。

建設水道課長
小島、森野、宝川、白坂の各地区の接続率は90パーセントを超えているが、笹川地区は85・1パーセント、野尻地区は70・3パーセントとなっている。接続率向上のために、説明会の開催やチラシの配布、工事費の利子補給を行っている。

■個別排水処理事業

長谷川義雄議員
個人設置の浄化槽も町

で管理しているのはなぜか。

建設水道課長

個人で管理していくことも可能であるが、検査等も厳しくなっているの
で、町に無償譲渡しても
らい管理している。

■後期高齢者医療

荒海清隆議員
普通徴収保険料（年金天引き以外の保険料）が前年より減となっている
要因は。

健康福祉課長

保険料の減の要因は、加入者の減少による。

長谷沼清吉議員

保険料未納者の対応は。
健康福祉課長
保険証ではなく、資格者証を発行し対応している。

■国民健康保険

伊藤一男議員
一般被保険者療養給費が前年より減となっている
要因と今後の見通しは。

健康福祉課長

診療所の医師の指導による
血圧管理がうまく

■水道事業

清野佐一議員
水源のポンプの更新時期と耐用年数との関係は。
建設水道課長
耐用年数にこだわらず、可能な限り使用している。

猪俣常三議員

一般会計からの繰入金は今後も続くのか。

建設水道課長

起債の元利償還金の8割を繰入しているもので、今後も継続される。

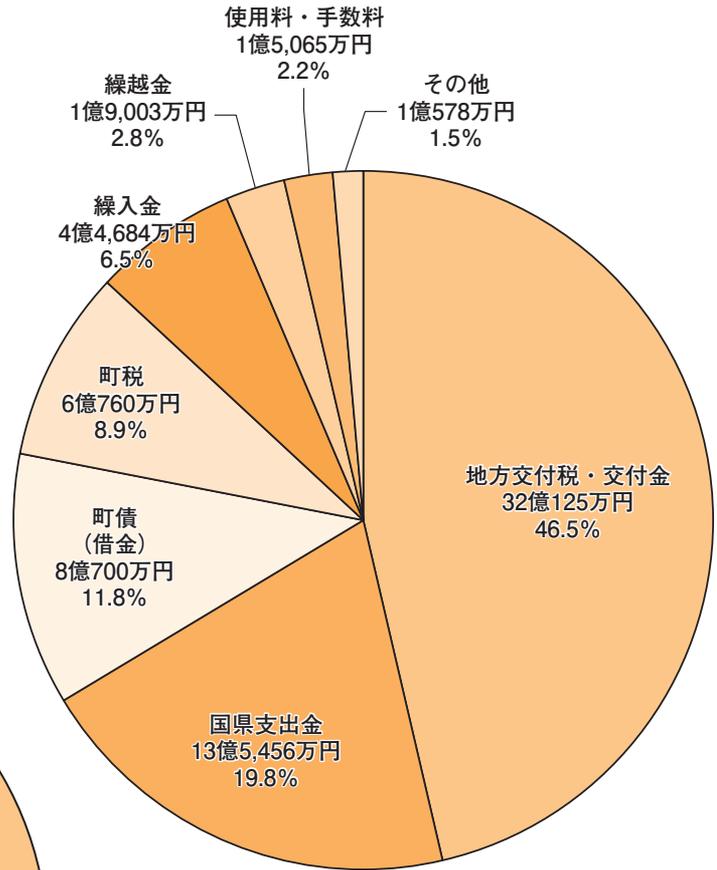
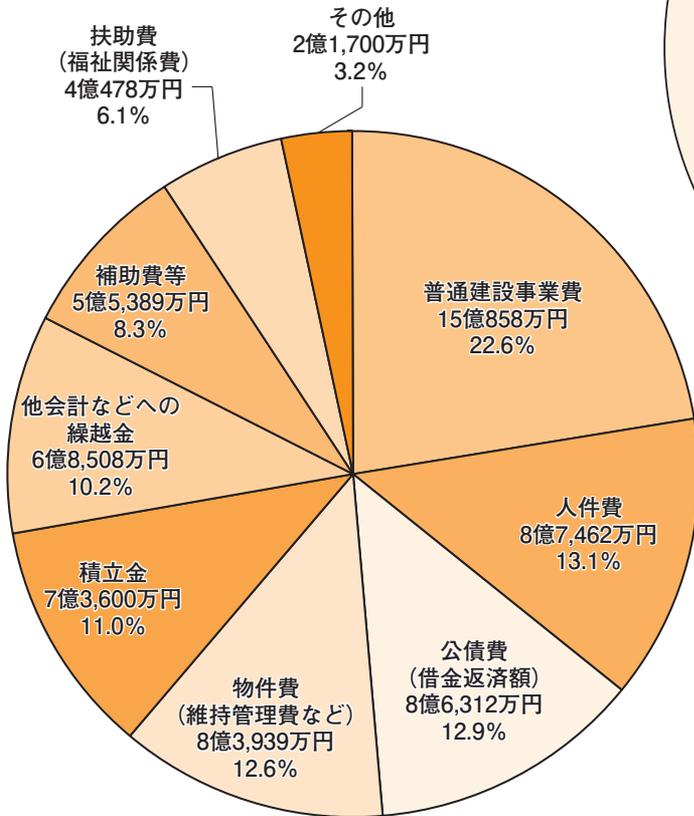
長谷沼清吉議員

有収率（※）が低い
が、漏水対策は。

建設水道課長

有収率の全国平均は80パーセントで、本町は約70パーセントとなっている。漏水対策は、パトリールなどをして調査している。

一般会計歳出総額 66億8,246万円



一般会計歳入総額 68億6,371万円

会計名	決算額		収入未済額 (税金・使用料などの滞納額)	決算の認定 採決の結果		
	歳入(収入)	歳出(支出)				
一般会計	68億6,371万円	66億8,246万円	5,112万円	全員賛成		
特別会計	工業団地造成事業	2万円	0万円	0万円	〃	
	商業団地造成事業	1,353万円	5万円	0万円	〃	
	住宅団地造成事業	174万円	166万円	0万円	〃	
	下水道施設事業	2億1,331万円	2億1,111万円	107万円	〃	
	農業集落排水処理事業	1億616万円	1億370万円	292万円	〃	
	個別排水処理事業	4,778万円	4,652万円	17万円	〃	
	後期高齢者医療	9,932万円	9,930万円	4万円	〃	
	国民健康保険	事業勘定	10億2,820万円	9億7,412万円	3,167万円	〃
		診療施設勘定	3億3,356万円	3億2,122万円	0万円	〃
	介護保険	10億5,122万円	10億2,958万円	120万円	賛4・反8・退席1	
簡易水道等事業	8,719万円	8,327万円	234万円	全員賛成		
合計	98億4,574万円	95億5,299万円	9,053万円	—		
本町財産区特別会計	49万円	8万円	0万円	全員賛成		

企業会計名	決算額		水道料の滞納額	決算の認定 採決の結果
	総収益	総費用		
水道事業(収益的収支)	1億5,268万円	1億4,834万円	677万円	全員賛成

町民の標として 町民憲章を制定

本年度、町政施行60周年の節目の年を迎え、協働のまちづくりのさらなる推進や未来に向けた大きな飛躍を目指すための町民憲章が町から議案として提出され、審議の結果、全員の賛成により原案どおりに町民憲章を制定しました。

作成しては。

町民からの要望もあるので、今後検討していく。

企画情報課長

【質疑】
多賀剛議員
策定期間が短かったにもかかわらず、素晴らしいものができた。町民への周知方法や掲示などはどうするのか。

企画情報課長

11月26日に開催予定の町政施行60周年記念式典で発表する。

町民への周知は、全戸配布をするともに役場や学校などの公共施設に掲示する。また、町で作成する様々な冊子にも掲載する。

荒海清隆議員

全戸配布については、永久保存のできるもので

長谷沼清吉議員
議決事項でない町民憲章が議案として提出されたのは。

企画情報課長

重要事項は、努めて議会の議決を得たい。

ケーブルテレビを民営化に

ケーブルテレビの管理・運営について、指定管理者制度を導入し、民営化を図るための条例改正案が提出され、議場内の議員全員の賛成により原案のとおり可決しました。

なお、長谷沼清吉議員は「指定管理を委託する一般社団法人の定款が示されていない現時点で、責任を持って賛成・反対の判断はできない」という理由により採決時に退席しました。

【質疑】

荒海清隆議員

指定管理者制度を導入するメリットとデメリットは。

企画情報課長

メリットは、事務費用

多賀剛議員
営業による利益で使用料の軽減はできないか。

企画情報課長

使用料は条例により定められているので、軽減はできない。

渡部憲議員

サービスの低下は心配ないか。

企画情報課長

事務は今までどおりに行うので、低下には繋がらない。

その他可決議案

■一般会計、国保特別会計、介護保険特別会計補

教育委員の任命に同意



五十嵐 長孝さん (原)

監査委員の選任に同意



佐藤 泰さん (上野尻)

請願 陳情

正予算 ■西会津中学校天井等落下防止工事請負契約の締結 ■西会津小学校新校舎建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事請負契約の変更契約

9月議会定例会には、各団体から陳情3件が提出されました。

提出された 請願・陳情 (敬称略)

■軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準

の改正などを求める陳情
陳情者 軽度外傷性脳損傷仲間の会代表 藤本久美子

【審議結果】継続審査(内容調査が必要のため)

■「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」

による就学支援事業の継続を求める陳情書
陳情者 福島県教職員組合中央執行委員長 角田

政志、福島県教職員組合耶麻支部支部長 小林克也

【審議結果】採択

■2015年度地方財政確立に向けた陳情書

陳情者 自治労西会津町職員組合執行委員長 渡部栄二

【審議結果】採択

なお、6月議会定例会で継続審査としていた小綱木寺線の改良工事に関する請願書と向原・村中線の改良工事に関する陳情書は、審議の結果採択となりました。

提出した意見書

■「被災児童生徒意見書 就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書
提出先 復興大臣ほか

■地方財政の充実・強化を求める意見書
提出先 内閣総理大臣ほか

か

常任委員会事務調査報告

総務常任委員会

調査実施日：平成26年7月25日、28日、8月6日

◆介護事業所の運営状況について
(喜多方市・町内)

◆ゴミの減量化・処理状況等について
(喜多方市)

喜

多方市の社会福祉法人が運営するグループホーム「やわらぎ」、小規模多機能型居宅介護事業所「やわらぎ」は併設型の施設であるため、職員の連携・協力体制が良好で、情報の共有や対応の仕方なども円滑に行え、夜勤も2人で対応するため職員の負担軽減につながっている。本町に開所した西会津しようぶ苑も同法人が運営する併設型の施設で、効率的で効果的な介護サービスの提供が可能と思われる。

また、本町に民間の介護付き有料老人ホームや



環境センター山都工場を視察研修

小規模多機能型居宅介護事業所が開所、運営されたことにより、これまでになかった介護サービスを受けることができ、選択肢は広がった。

本町も国が進める地域包括ケア体制を目指すなかで、生活実態や地理的条件に相応した医療・介護・介護予防の連携を強化した体制の構築や関連施策の実施が早急に必要である。

環

環境センター山都工場は、ゴミの焼却施設及び粗大ゴミの処理施設である。また同工場では、ゴミの減量化やプラスチック製容器包装リサイクルに積極的であり、圏域住民を対象に出前講座を実施し、ゴミの出し方やごみ減量化、リサイクルについて啓発活動を行っている。

本町においても、町民のゴミに対する意識の向上をどう啓発できるかが重要である。

経済常任委員会

調査実施日：平成26年7月8日、17日、28日

◆バイオマスタウン構想について
(新潟県阿賀町)

◆農業生産法人越後ファーム株式会社の運営について
(新潟県阿賀町)

阿

阿賀町では、平成22年3月にバイオマスタウン構想及び木質バイオマス利用基本計画を策定すると同時に、阿賀町後期総合計画において具体的な施設整備計画を策定した。

バイオマスタウン構想では資源循環型のまちづくりを推進し、環境保全に取り組み、木質バイオマスの利活用を推進すること、地域林業の活性化を図ることとしている。

本町においても森林整備や森林資源の利活用、環境問題等を総合的に判断すれば、阿賀町のように木質バイオマス活用へ



阿賀町のペレット工場を視察研修

越

越後ファームは、米の生産から販売までを手がける農業生産法人であり、平成26年1月に新潟本社新工場が阿賀町に完成した。工場は雪室貯蔵や精米、乾燥等の各施設を有し、衛生管理が行き届いた近代的な工場である。

中山間地の米作りで生きていくために、独自の有機栽培法を確立し、高付加価値化の道を選択した。大事なことは、いかにおいしく、安全・安心な米作りをするかであり、また、販売するための企画、営業力でそれを売れる米にすることである。

本町にも、おいしい米として全国的に評価されている米もあり、他に負けない米作りは十分可能である。販売は「よりつせ」や横浜市鶴見区の「アテナショップ」を活用し、創意工夫しながら取り組むべきと考える。

町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇

こんな質問をしました（質問順）

- 猪俣常三議員（12ページ）
 - ①道路網の整備について
- 伊藤一男議員（8ページ）
 - ①高齢者対策について
 - ②バイオマスタウン構想について
- 渡部憲議員（7ページ）
 - ①旧尾野本小の木造講堂について
 - ②地域おこし協力隊について
 - ③本町の町道の補修の状況について
- 小柴敬議員（13ページ）
 - ①街路灯及び防犯灯のLED化事業への対応について
 - ②地域連携販売力強化施設の農林産物供給準備について
- 長谷川義雄議員（9ページ）
 - ①商業団地整備事業について
 - ②保育の現状と今後について
 - ③高齢者対策について
- 鈴木満子議員（8ページ）
 - ①新たな保育施設について
 - ②重い認知症と診断された高齢者の対応について
- 多賀剛議員（11ページ）
 - ①魅力あるまちづくり・自慢できる、愛着の持てるまちづくりについて
- ②スポーツツーリズムによる交流人口の拡大について
- ③職員の定数計画、採用計画について
- 荒海清隆議員（10ページ）
 - ①梅雨前線（7月9日）による大雨の対応について
 - ②飯豊山の登山道整備について
 - ③町道の維持管理について
- 青木照夫議員（9ページ）
 - ①まちなか再生について
 - ②野沢町内の環境整備について
 - ③ゴミの処理分別問題について
- 五十嵐忠比古議員（11ページ）
 - ①町政懇談会と町民提案制度等について
 - ②鳥獣被害対策について
- 清野佐一議員（10ページ）
 - ①ふるさと納税制度への取り組みについて
 - ②マイマイガ防除対策について
 - ③町政の取り組みについて
- 長谷沼清吉議員（12ページ）
 - ①よりよい町政伸展のために
 - ②町政の当面の課題について



残したい 利用したい 旧尾野本小学校講堂

問 旧尾野本小学校講堂は利用できないか

答 専門家に調査を依頼する

問 旧尾野本小学校の講堂の活用について、町の考えを問う。

渡部

憲 議員

企画情報課長

旧尾野本小学校講堂は、老朽化が進行して継続活用は困難と判断し、解体し跡地の有効利用を図るとの方針が決定されているが、戦前に建築された歴史ある建物で、保存を

望む声もある。

本施設を一時的なイベントとして活用することは問題ないが、常時ホールとして活用するには様々な制約が生じてくる。改修・維持管理経費などについて専門家に調査を

依頼し、その結果を踏まえて、改めて活用方法を検討する。

問 野沢本町の町道のひび割れや段差陥没状況は。また補修は進んでいるのか、進捗状況は。特に下水道管敷設後の復旧状況は。

建設水道課長

現在の状況は経年劣化により段差がついているところもあり、道路パトロールに基づき道路維持の中で修繕を行っている。下水道管敷設後の復旧状況は、アスファルトによる復旧を実施してきたが、既設コンクリートとのなじみが良くないため、今年度に横断部の4カ所をコンクリート舗装した。残りの4カ所も次年度に実施する予定である。

問 木質バイオマスの町の取り組みは
答 事業計画を策定し推進を図る

伊藤 一 男 議員

問 本町の豊富な森林資源を活かし、木質バイオマス燃料なども視野に入れ、将来を見据えた地域資源循環型の町づくりを推進すれば、地域経済の活性化や雇用の創出につながるかと考えるが、町の取り組みは。

企画情報課長
 木質バイオマス燃料の



9月にオープンした民間の福祉施設

生産・活用は、林業の活性化や再生可能エネルギーの推進に繋がり、本町の特産・独自性を活かした有効な施策であると考えている。町では、木質燃料による地域活性化事業計画を策定し推進を図る。

健康福祉課長
 本町では、「健康がいちばん！」をキャッチフレーズとして、食・運動・健（検）診を柱に総合的な健康づくりを推進することにより、健康寿命延伸に取り組んでいる。

問 介護予防事業を積極的に推進し、健康寿命の延伸を図るべきと考えらるが。

また、来年4月の介護保険制度の改正により、町ではどのくらいの施設入所待機者が対象から外れるのか。その対応はど

うするのか。

健康福祉課長
 町内の施設入所待機者は115人で、そのうちの要介護2以下の方40人が対象から外れる。その方々が在宅で生活できるようにデイサービス、訪問介護、地域密着型サービスにより支援していく。

問 新しい保育施設の建設候補地として、町役場跡地と新西会津小学校の隣接地の2カ所を考えた理由は。

町長
 役場跡地は野沢まちなかの活性化や町の所有財産の有効活用が図れること、新小学校隣接地は保育所と小学校を連携することにより、幼児教育から中学校まで教育の一貫性が図られ、特色ある教育環境が整備されることなどが選定の理由である。

問 本町が設置を検討している保育所型認定子ども園の形態を問う。

また施設整備費や運営費の補助金はあるか。

健康福祉課長
 保育所型認定子ども園は、家庭内で保育のできる家庭の満3歳以上の子どもも受け入れ、保育所のカリキュラムに学校教

問 保育施設建設候補地2カ所の理由は
答 財産の有効利用と特色ある教育環境整備

鈴木 満子 議員

育法に掲げる教育も加えて実施する施設である。施設整備費や運営費の補助金は、町が施設を設置運営する場合は、補助

制度はなく、全額町負担となるが、入所児童の人数により普通交付税措置（※）がある。



安全・安心な新しい保育施設をみんなが望んでいます

(※)普通交付税措置とは…国から交付される普通交付税の中で、基準により算定された金額も含まれて交付されること。

問 電気自動車用急速充電器に問題はないか

答 一度充電できなかつたが簡易復旧で解決

長谷川 義雄 議員

問 道の駅にしあいづに、電気自動車用急速充電器が設置されて約1カ月になるが、利用状況はどのくらいか。

商工観光課長
利用状況は、8月6日より運用を開始し、8月31日までの26日間で9台が利用した。

管理上の問題は、1回充電できないことはあったが、簡易復旧により解決した。

問 放課後児童クラブを利用しての児童は、旧芝草保育所まで歩いて通所しているが、特に冬期間の通行の安全対策はどのように考えているか。

健康福祉課長
小学校の1、2年生には保育士が付き添い、道路状況や降雪に配慮し安全を確保している。冬期間、豪雪等により危険性を伴うと判断した場合は、バスでの送迎を行い、安全確保に努める。



ようやく運用開始となった電気自動車用急速充電器

問 歴史探訪や街並み再現で誘客が図れないか

答 個人負担が生じ、地域住民と合意形成が必要

青木 照夫 議員

事業で、国道出入口に越後街道野沢宿の看板を設置するほか、まちなかの様々な史跡を紹介する看板設置等を計画している。街並みの再現は、本事業に盛り込むことはできなかった。こうした事業は、地域住民の個人負担が生じる事業であることから、地域住民との合意形成を図り進めていくことが必要である。

問 野沢中央通りに消雪パイプを設置すれば、ドーザの除雪がなくなり、住民の除排雪が少なくなる。

る。また流雪溝の雪詰まりの解消にもなる。高齢者や空き家が増加する中、設置が必要と思うが、その考えはあるか。

建設水道課長
消雪パイプの設置は大変有効な施設と認識している。消雪施設は散水消雪、無散水消雪、ロードヒーティング等の様々な工法があるが、いずれも整備費や維持監理費が多額であり、本町にとってどのようなものが有効か経済性も含め検討していく。



以前使用されていた消雪パイプ

問 野沢は、明治時代から政治・文学・教育・医学等の分野で偉人を輩出し、全国で活躍された歴史がある。ふるさと自慢館を拠点として、歴史を探訪できる施設や街並みを再現すれば誘客が図れると思うが、いかがか。

企画情報課長
野沢地区都市再生整備

問 マイマイガ防除対策は

答 防除のチラシを全戸配布した

清野 佐一 議員

問 本年は今まで見たことがないほどのマイマイガの大量発生があった。特にさゆり公園内の木々や施設に卵を産み付けて景観を損ね、公園を訪れる人々に大きな不快感を与えている。また、来春には孵化した幼虫の農作物への食害が心配されるが対策は。



美観を損ねるマイマイガの卵

町民税務課長

8月上旬に防除にかかるチラシを全戸配布し、卵の除去や殺虫剤による駆除をお願いした。

公園等の公共施設は、施設の職員が卵の除去等を行っている。

今後、マイマイガの大量発生を防ぐ有効手段を調査し対応していく。

問 来年度よりふるさと納税制度で、税金が軽減される寄附の上限が2倍に引き上げられるほか、

関連手続きを簡素化する改正が行われるとしている。現行よりさらに積極的な取り組みを奨励する改正と受け取れるが、町の考えはどうか。

町民税務課長

ホームページやケーブルテレビ、広報紙等による周知や在京西会津会、西会津郷友会などへもPRを図ってきた。

今後もPR方法やお礼の品物などについて、十分に検討していく。

問 町道舗装の傷みへの町の対応は

答 適正な維持管理に努めている

荒海 清隆 議員

問 町道の舗装に傷みが目立ってきている。町ではどのように対応しているのか。

建設水道課長

定期的なパトロールを実施し、安全で円滑な交通を確保するため、修繕工事やパッチング等により道路の適正な維持管理に努めている。

ととしている。

西会津山の会への支援は、いいでの集いや登山道の刈り払い、点検などの事業内容などについて、謝礼や委託費も含め密接な連絡、調整を図り、山の会の意見等も十分に踏

まえながら進めている。今後も山の会のご協力とご理解をいただきながら登山道の整備や飯豊観光の積極的なPRに努め、登山人口の拡大を図っていききたい。

問 飯豊山の登山道整備と西会津山の会への支援策を問う。

商工観光課長

飯豊山登山は町観光振興の貴重な資源であることから、弥平四郎林道や登山道、観光看板などの整備を年次計画で進めることとしている。

弥平四郎林道は、7月の豪雨により昨年と同じ箇所が被災していることから、その被災箇所について路面の補強や暗渠等の入れ替えなどを行うこ



雨で流される飯豊山登山道（林道）

問 なぜ町民参加が進まないのか

答 参加意識が途上にあるものと考える

問 魅力あるまちづくりの推進には、行政だけに任せるのではなく、行政と住民の協力関係のもとに進めることが必要である。まちづくり基本条例で謳っている町民が主役、協働によるまちづくり、なぜこれがうまく進まないのか。

町長 条例施行前には、町民参加のしくみが整っていませんでした。町民のみなさんが自らの意識を変えて、まちづくりへ参加しようとする途上にあるものと考えます。町政への積極的な関わりをもっていたいただきたい。

問 職員の定数計画、採用計画について問う。来年は5人ものベテラン職員が定年退職を迎えるが、4月以降の体制はどのような考えか。来年の採用計画はどのような

多賀 剛 議員

ついているか。また現在の計画職員数で職務に支障はないのか。
総務課長 これまでの全国画一的な削減から、今後は新たな行政需要への対応と地域の実情に応じた効率的で質の高い行政を実現するため、数だけでなく質の観点からも適正化を図る、新たな定員管理計画の策定を進めており、その中で今後の採用計画を十分に検討していく。



現在の職員数で職務に支障はないのか

問 町民提案制度が活かされた事案は

答 バス交通体系の抜本的見直しなど

五十嵐 忠比古 議員

問 町長は、就任当時から町政座談会や直接対話、町民提案制度による民意の吸い上げに取り組まれているが、それら直接対話による意見、要望で町政へ反映させた事案はどのようなものがあるのか。また、町民提案制度のこれまでの件数を併せて問う。



活かされているか 町民提案

企画情報課長 町づくり提案制度は、平成21年度からこれまで述べ84人の方から、136件の提案をいただき町ホームページで公開している。
次に、町政懇談会や町づくり提案制度が、どのくらい町政に活かされているかについては、道路整備から身近な生活に関わる問題まで様々で、大きなものではバス交通体系の抜本的見直し、診療所の院外薬局の導入などが挙げられる。

問 鳥獣被害防止パトロール成果について問う。

問 保育所建築計画に群岡保育所も入れるべき

答 保護者の選択肢の一つとして話し合う

長谷沼 清 吉 議員



支援策は本当に効果があったのか

問 より良い町政発展のために。

- ① 保育所建築の計画に、なぜ最初から群岡保育所を入れなかったのか。
- ② 西会津高校支援の効果をどう評価しているのか。12名の転校・退学をどうとらえているのか。
- ③ 健康福祉課を分割すべきと思うがどうか。

健康福祉課長

① 群岡保育所については、昨年実施したアンケート調査の結果で、いくつかの保育所があり保護者が選べる選択肢があったほうが良いという意見が多かったことを踏まえ、強く統合を求めたものではなく、現在のまま残すことも選択肢の一つとして保護者の皆さんと話し合う方向で進めることとした。

教育長

② 平成25年度は19人、平成26年度は22人が町外から入学していることか

ら、入学者数については確実に効果があったと判断している。

転校・退学については、中学校時代からのさまざま問題を抱えた部分を克服できない子供もいたためと考える。

町長

③ 今後、新たな視点に立った保健・医療・福祉の連携のあり方や、子育て支援の充実等を考えたとき、現在の健康福祉課をより効果的で効率的に運営するためには、組織の検討も必要なことであると考えている。

問 県道の改良工事の計画は

答 引き続き県へ要望していく

問 道路網の整備について問う。

- ① 県道上郷下野尻線のなごの平から滑沢入口までの石坂峠の急勾配、急カーブの解消について、県で改良工事の計画はあるか。また、町で要望はしているか。
- ② 県道上郷下野尻線の新村・平明間は、急カーブや狭隘になっているため見通しが悪く、転落や接触事故などが発生し通行に支障をきたしている。冬期間の除雪にも影響があるが、県で改良工事の計画はあるか。また、町で要望はしているか。
- ③ 西会津町縦貫道路のうち、中町工区の進捗状況と県に対しての要望などを問う。

建設水道課長

① 町では昨年度より地域課題検討会とおして道路要望をしている。県では本年度調査費の予算

猪俣 常 三 議員



改良が望まれる石坂峠

を確保し、現地調査を実施する予定である。

② 現在、用地の権利関係の調査と登記についての調査を行っているところであり、解決後に県に要望をしていく。

③ 道路の予備設計が完了し、本年度測量設計と地質調査業務を実施する予定である。町では整備促進を強く関係機関に要望していく。

問 商店街街路灯LED化のスケジュールは

答 降雪前に事業完了できるように

問 野沢地区街路灯LED化が事業採択されたが、今後のスケジュールは。また、他地区の今後のLED化への取り組みは。

企画情報課長

中小企業庁の補助事業である商店街町づくり事業を活用し整備を図ることとし、商工会が事業採択に向けての作業を進めてきた。8月8日に事業採択の通知があり、本年度の事業実施が可能となった。降雪前に事業完了できるように、商工会の取り組みを支援して

他地区のLED化への取り組みは、本年度要望のあった街路灯22基、防犯灯105基について、要望どおり事業実施できるように補助金を交付する。

問 商業団地A区画の建設される新施設に対応

小柴 敬 議員



補助事業によりLED化へ

する農林産物の準備について問う。

①ミネラル栽培の畑の増減は。

②冬期間の販売品目の確保は。

③加工品の対応は。

農林振興課長

④特産品の開発は。

えた。

②雪下野菜や寒締め野菜等の研修会と栽培に取り組む。

③約50種類の商品が販売されている。

④地域おこし協力隊による個別の商品開発の指導も始まり、新たな商品開発に取り組んでいる。

4回会
第4臨時
第議臨

保育施設整備等審議会を設置

附属機関の設置に関する条例の一部改正を可決

7月15日に第4回議会臨時会を開会し、町から保育施設整備等審議会を設置するための附属機関の設置に関する条例の一部改正、7月の豪雨被害への緊急対応経費や橋屋橋建設工事に伴う廃棄物処理経費等を計上する補正予算など4件の議案が提出され、審議の結果、いずれの議案も全員賛成で原案のとおり可決しました。

また、町農業委員会委員の改選に伴う議会推薦の委員も決定しました。

【質疑】

多賀剛議員

なぜこのタイミングで審議会を設置するのか。

健康福祉課長

当初は子ども・子育て会議でご意見をいただき、保健福祉審議会等で答申をいただくことで考えていたが、特別な審議会をひとつ設置して町民の意

見をいただくということとで、今回設置するに至った。

長谷沼清吉議員

橋屋橋建設工事現場から出た一般廃棄物の量と産業廃棄物の量は。

建設水道課長

一般廃棄物は1500立方メートルで、産業廃

議会推薦の農業委員

次の方を推薦しました。

- 橋谷田淳さん(2町内)
- 三留弘法さん(西林東)
- 中島和男さん(上野尻)
- 高久一志さん(柴崎)



廃棄物が出た橋屋橋建設工事現場

お話ししましょう

第2回議会報告会の

その後…



報告会での要望事項等を町長に申し入れ（9月16日）

5月に開催した議会報告会で、町民のみなさんから寄せられたご意見やご要望について、前号ではその検討方針などをお知らせしましたが、本号ではその後の検討結果や町に照会した事項の回答などについてお知らせします。

総務常任委員会で対応しました

総務常任委員会では、7月25日、28日、8月6日に実施した管内所管事務調査の中で、意見・要望事項の調査と検討を行いました。

高齢者について具体的対策を議会として取り組んでほしい

継続的に調査・研究をしていきます。

前回の報告会で提案した「福祉での日本一のまちづくり」をめざした福祉の充実を

前回、町に要望しています。また併せて介護保険事業計画などの大きな計画は、議会に説明する

経済常任委員会で対応しました

経済常任委員会では、7月8日、17日、28日に実施した管内所管事務調査の中で、意見・要望事項の調査と検討を行いました。

Uターンできる環境づくりが遅れている

継続的に調査・研究するとともに、町と一緒に取り組んでいきます。

地域おこし事業などには、経済常任委員が視察に来てほしい

よう求めています。

1町内でサロンが行える場所の提供を

実態を調査し、町へ申し入れをしました。

冬期間の資源ゴミの保管に困っているのを改善してほしい

町に要望し、継続的に調査・研究をしていきます。

開催の案内状をいただければ対応します。

白坂・宝川間の倒木と落石の問題の解消を

現地調査を行い、町に申し入れをしました。

宝川は豪雨などで通行止めになると孤立する可能性があるため、迂回路の整備を再度検討してほしい

調査して検討していきます。なお、現地調査は行いました。



経済常任委員会の現地調査

県道の新村・平明間の水害時に設置した土留めの対応を

地元自治区長、町担当課とともに現地調査を行い、町へ申し入れをしました。

本町地区の農道の土手が崩れているので整備してほしい
整備工事が完了しました。

町民のみなさん

特別委員会で対応しました

次の意見・要望は、議会活性化特別委員会や保育施設の運営に係る調査特別委員会で調査・検討を行いました。

現在の西会津小学校では、庁舎機能を有さないのではない

他の自治体で、実際に空き校舎を役場庁舎にしているところもあり、継続的に調査・研究をしていきます。

庁舎移転よりも保育所整備の問題を優先させるべきではないか

議会としても、保育施設の整備を最優先事項と考えています。

7月11日には尾野本保育所で、8月6日には野沢保育所で、8月28日には群岡保育所で、保護者・保育士と議会との意見交換会を開催しました。その際に参加されたみなさんから寄せられたご意見やご要望は、現在特別委員会で調査検討をして

います。

若者の声に耳を傾けて

総務常任委員会では、まちづくりに対する若者の意見を聞くため、8月29日に町商工会青年部との意見交換会を実施しました。

【テーマ】道の駅を拠点とした既存商店街の活性化について

■西会津町の町おこしについて

商工会青年部員からは、町おこしへの思いや町活性化の考えなどについて、意見・提言・要望が語られ、活発な、そして大変有意義な意見交換となりました。



青年部のみなさんから熱い思いを聞かせていただきました



議会報告会を開催します!!

町議会では、より開かれた議会を実現するため、議会報告会を開催しています。議員がみなさんの地区にお伺いをして議会の報告をするとともに、町民のみなさんと意見交換をしたいと思っておりますので、本議会だよりをご持参の上、都合の良い会場にお越しください。

■日程及び場所

11月 4日 (火)	熊沢集会所	11月11日 (火)	橋屋集会所
11月 7日 (金)	保健センター	11月11日 (火)	奥川みらい交流館
11月10日 (月)	新郷連絡所	11月12日 (水)	町公民館
11月10日 (月)	山浦集会所	11月12日 (水)	林業研修センター
11月11日 (火)	出ヶ原集会所	※時間は全会場とも18:00から	

大勢のみなさんのお越しをお待ちしております!

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、群岡保育所保護者会長の佐藤秀一さん（宝川）です。

—会長として苦労されたことは。

特別ありませんでした。遠足や夕涼み会、運動会など、先生や前会長、保護者、児童のお家の方々のおかげで大成功に終わりました。

—子どもはどのように育ててほしいですか。

やさしくのびのびと。大人になったら、今ある幸せに気付ける人になってもらいたいですね。

—保育所統合について、どのように考えていますか。



会長お疲れさまです 佐藤秀一さん

プロフィール

住所：宝川（群岡）
年齢：34歳
家族構成：祖母、父、母、弟、妻、子どもの4人の10人
趣味：テレビゲーム、野球

保育所の差（給食やゼ口歳児保育）が無くなり、平等になることは良いことだと思います。しかし、統合による人数の増加が、必ずしも今以上に子どもたちにとって良いとはいえないと思っています。この統合に関しては、行政・保護者・地域住民などで話し合い、どうすることが子どもたちにとっていちばん良いのか考える必要があると思います。

—町や議会に望むことは。

各施設などを中央にまとめ、管理はしやすい体制になります。地域の衰退に拍車をかけているように思えます。子どもやその親の世代がいけないのは、暮らすのに不便だからかもしれません。より子どもを育てやすい町づくりから、町全体の活性化を期待しています。

—ご協力ありがとうございました。今後ご活躍を期待しています。

議会の動き

会津耶麻町村議会議員研修会に参加

10月10日に北塩原村生涯学習センターで、猪苗代町、磐梯町、北塩原村と本町の4町村で構成する会津耶麻町村議会議長主催の議員研修会が開催され、本町から全議員が研修に参加してきました。

研修では、議会運営についてをテーマに各町村の代表者から、それぞれの議会における特徴的な内容の発表がありました。

本町の発表は、長谷沼清吉議会運営委員会委員長が行い、議会での申し合わせ事項などをまとめた議会マニュアルを作成していることや常に議会改革を目指して議会基本条例を制定したこと、さらには議会活動として議会報告会や保育所保護者会、商工会青年部等の各種団体との意見交換会を実施していることなど、本町議会の特徴的な事例を発表してきました。



会津耶麻町村議会議員研修会

編集後記

猛暑の夏が過ぎ、秋の収穫の時期に入りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

平成26年9月議会定例会（決算議会）も滞りなく終了しました。しかし、いろいろな課題が待ち受けており、小学校新築工事や役場庁舎移転問題、保育所新築工事さらにはまちなか再生などがあり、これからの検討課題です。議会だよりも町民の皆様様に親しまれる分かりやすい議会だよりとなるように努力してまいりますので、町民の皆様のご意見やアイデアをどんどんお寄せください。

（渡部 憲）

- 編集委員 渡部 憲
委員長 三留正義
副委員長 伊藤一男
委員 長谷川義雄
〃 清野佐一